

平成30年度

## 第1回 宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

日時：平成30年5月31日（木）15：00～

場所：宇城市役所2階 庁議室

### 1 開会

### 2 議事

- (1) 宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について（事前送付資料）
- (2) 平成30年度 総合戦略実施計画について（事前送付資料）
- (3) その他

### 3 閉会

#### 【配布資料】

- ・平成30年度第1回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議 次第
- ・宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）・・・事前送付
- ・平成30年度 総合戦略実施計画書 ・・・事前送付
- ・総合戦略改定事業新旧対象表

## 1 開会

委員欠席：永井委員、藤田委員、濱崎委員

委員交代：宇城公共職業安定所 福山 幹也 氏

委員交代：県立小川工業高等学校 原田 茂 氏

委員交代：肥後銀行松橋支店 吉村 二郎 氏

委員交代：宇城市PTA連合会 北岡 邦房 氏

## 2 議事

### (会長)

それでは、議事に入る。宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）について、事務局からの説明をお願いします。

### (事務局)

前回の有識者会議において、K P Iの実績値が「不明」や最終目標が「調整中」であるものが多数みられ、『現状に即した適切なK P Iになるように検討いただきたい』とのご指摘をいただいた。

今回、適切なK P Iの設定と併せ、前回お示しした実施計画の統合を基にした『宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の改定（案）を提示する。

事前配布資料の宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）について、事務局より事業概要を説明

改定内容は、【別紙】総合戦略改定（案）及び総合戦略改定事業新旧対象表朱書き箇所を参照。

### 商工振興課（5事業）

- ・1-ア-① 産業振興連携ネットワーク事業
- ・1-ア-② 「ブランド売り込み」プロジェクトの推進
- ・1-ウ-① 経営力を高める創業支援と戦略的企業誘致推進事業
- ・2-エ-① 地元就職率向上に向けた連携推進事業
- ・3-ウ-③ 公共交通・買物支援等の社会システムの抜本的対策の推進

### 農政課（4事業）

- ・1-イ-① 「優秀な就農希望者を集めましょう」プロジェクトの創設
- ・1-イ-② 先進農家の法人化と集落営農の推進
- ・1-イ-③ 金融機関等と連携した販路（新規市場）拡大・6次産業化支援
- ・1-イ-④ 優良農地の確保に向けた取組

#### まちづくり観光課 (6 事業)

- ・2-ア-① 宇城市版 DMO の推進
- ・2-イ-① 地域主体の空家利活用・移住促進システムの構築（空家トナリ制度）
- ・2-ウ-① 市外在住者連携強化推進事業
- ・2-エ-② 地域活動への高校生の参加促進事業
- ・3-ウ-① 地域ごとの未来像の設定及び担い手育成事業
- ・3-ウ-③ 地域づくり活動の事業継続性の向上

#### 教育総務課 (2 事業)

- ・2-ウ-② 学生連携強化推進事業
- ・3-イ-① 定住促進に向けた子育て支援策の拡充

#### 都市整備課 (2 事業)

- ・3-ア-① 宅地開発に伴う金融機関・住宅メーカー等との連携及び整備推進
- ・3-ア-② 空家・空地等所有者への資産活用勉強会等の開催

#### こども福祉課 (1 事業)

- ・3-イ-① 定住促進に向けた子育て支援策の拡充

#### 企画課 (1 事業)

- ・3-イ-② 宇城市の魅力発信事業（こども福祉課より所管替）

#### 高齢介護課 (1 事業)

- ・3-ウ-④ アクティブシニアの能力活用推進

#### (会長)

ここで、委員の皆様からの意見を伺いたい。

#### (委員)

職業安定所として、県内高校新卒者を対象にアンケート調査を実施した。結果、県内就職を希望する者が昨年より少なくなっている。

2-エ-① 地元就職率向上に向けた連携推進事業のK P I「地元高校新卒者で県内に就職した割合」の目標数値が高いと感じるが、いかがか。

#### (商工振興課)

小川工業高校及び松橋高校において、地元企業合同説明会を開催するなど、

独自の取組みを行っている。総合戦略上、若者を地元に残すことを重視しており、目標数値としてご理解いただきたい。

**(会長)**

現状として、県内就職を希望する高校生の割合は減っている。従来どおりの施策だけではK P Iの達成は難しいと考える。新たな取組みはあるのか。

**(事務局)**

地方創生推進交付金や拠点整備交付金を活用した新たな取組みを平成30年度より開始する。また、各種施策の相乗効果により目標達成を目指す。

**(委員)**

3-ウ-③ 公共交通・買物支援等の社会システムの抜本的対策の推進について、K P Iが「買物支援登録世帯数」を設定され、目標数値が増加している。

対して、他の施策では買物弱者を増やさない施策に取り組まれている。戦略全体として考えた場合、整合性が取れていないのではないか。

**(委員)**

先ほどの質問に併せて問う。宇城市全体を見た場合、買物弱者はもっと多いと感じるがいかがか。

**(商工振興課)**

ご指摘のとおり、買物支援車は一部の地域のみで運行しており、宇城市全体を見ると買物弱者はもっと多いと推測する。地域の実情や戦略全体を考え、適切なK P Iとなるように再考する。

**(会長)**

以上、事務局より提示があった「宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定(案)」について、承認してよろしいか問う。

**有識者答申 『可』**

**(会長)**

続いて、平成30年度 総合戦略実施計画について、事務局からの説明をお願いします。

## 事前配布資料の地方創生推進交付金・拠点整備交付金事業(4事業)について、担当課より事業概要、実績、次年度の展開について説明

### 商工振興課 (1事業)

- ・雇用創出に向けた域内経済循環促進事業

### まちづくり観光課 (3事業)

- ・DMOと地域商社による雇用創出実現事業
- ・集落人口ビジョン・集落版総合戦略の策定による地域づくりのPDCA確立事業
- ・コミュニティビジネス創出拠点整備事業

### (会長)

ここで、委員の皆様からの意見を伺いたい。

### (委員)

観光戦略・稼げる観光として、インバウンド対策を実施してはどうか。併せて、中国等の富裕層を対象にしたヘルスツーリズムを実施してはどうか。

### (事務局)

インバウンド対策については、観光戦略に位置づけて実行に移していく。具体的には、県や旅行代理店を経由してくる情報を収集できるようなネットワークを構築し、海外からの旅行者に対する『おもてなし』ができる体制作りから始める。

ヘルスツーリズムについては、策定した観光戦略には織込んでいなかった。稼げる観光を目指すためには必要な観点である。戦略策定会議の議題にあげ、検討から始める。

### (会長)

最後にその他について、事務局からお願いします。

### (事務局)

次回の会議は平成30年度末を予定している。詳細は追って連絡する。

以上を持って、平成30年度第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了する。